

クラシック画面の 設定マニュアル

作成：寺岡善隆

編集：中島幸喜・町中道子

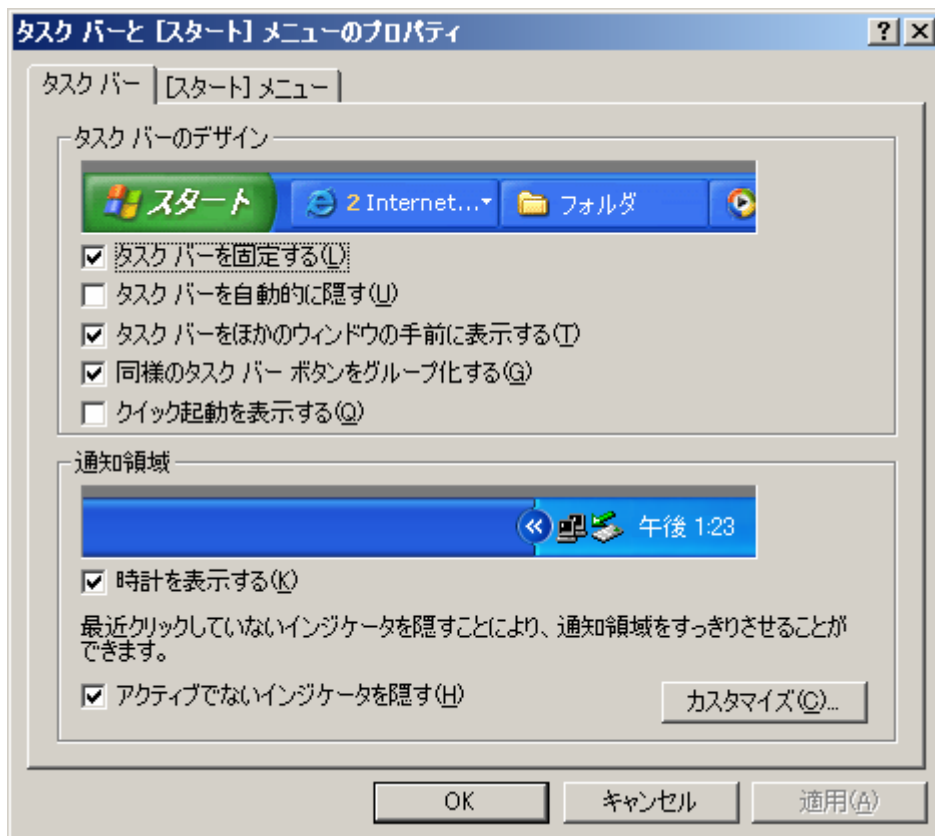
作成日：2005年7月

クラシック画面の設定法

「コントロールパネル」を開き、下矢印キーで「タスク バーと [スタート] メニュー」まで行き[Enter]し、設定画面を開きます。

フォーカスは「タスクバーのタブ」にありますので、[Tab キー]で各項目をたどり「タスクバー」の設定を行なってください。

タスクバーの設定



- タスク バーを固定するのチェックボックス : チェック
- タスク バーを自動的に隠すのチェックボックス : チェック・なし
- タスク バーをほかのウィンドウの手前に表示するの チェックボックス : チェック
- 同様のタスク バー ボタンをグループ化するの チェックボックス : チェック
- クイック起動を表示するの チェックボックス : チェック なし

- 時計を表示するの チェックボックス : チェック
- アクティブでないインジケータを隠すの チェックボックス : チェック
- カスタマイズ ピッピッピのプッシュボタン
- OKのプッシュボタン
- キャンセルのプッシュボタン

スタートメニューの設定

変更したときには「適用」で[Enter]し、[Tab キー]で「タスクバーのタブ」まで行き、右矢印キーを一度押し「スタートメニューのタブ」に移り、[Tab キー]で各項目をたどり、「スタートメニュー」の設定を行なってください。



➤ ラジオボタンクラシック スタート メニュー

ここで、「クラシック スタートメニュー」と「スタートメニュー」の切り替えが、上下矢印キーで行なえます。

➤ カスタマイズ ピッピッピのプッシュボタン

➤ OKのプッシュボタン

➤ キャンセルのプッシュボタン

変更したときには「適用」で[Enter]、さらに[Tab キー]で「OK」まで行き[Enter]します。

これで、「クラシック画面」の設定は終わり、画面がクラシックスタイルで表示されるようになります。

なお、チェックの[On/Off]の切り替えは[Space キー]で行なってください。

ラジオボタンの所は、上下矢印キーで、項目を選択してください。

コメント

私たち、音声を使ってパソコンを操作している者にとっては、「クラシック画面」にすることにより、「スタートメニュー・コントロールパネル・デスクトップ」内などの項目が縦一列に並んでくれます。従って、上下矢印キーだけで、目的の項目を探ることができるようになります。

「スタートメニュー画面」では、縦・一列には並んではなく縦横、何列かに並び、上下左右の矢印キーを使って目的の項目を探さなくてはいけなくなってしまう。

見える方は、画面を見て目的の項目を探しますのでクラシック画面」でも

「スタートメニュー画面」でもどちらでもかまわないのですが・・・。

私たち、音声を使ってパソコンを操作する者にとっては、

上下矢印キーだけで項目を探ることができるのはとても便利なのです。

ですから、「クラシック画面」にすることにより、私たちはパソコンを便利に操作することができるようになります。